

産
業

Industry



革新を纏う

千年の都・京都にはいにしえより職人やモノが集い、
あらゆる技法を融合させながら独自のものづくり文化を育んできました。
その精神を今に伝える表現力豊かな作品の数々をお楽しみください。

Wearing Innovation

Kyoto served as the capital of Japan for over one thousand years, and it has been a focal point for artisans and goods since ancient times, fostering a unique manufacturing culture that fuses together techniques of all kinds. Enjoy an extensive collection of highly expressive works that carry this spirit forward into the present day.

1 Poiesis Labs合同会社／株式会社ZOZO NEXT
Poiesis Labs LLC / ZOZO NEXT Co., Ltd.

2 株式会社京都商事 浅田製瓦工場
Kyoto shoji Co., Ltd. Asada Roof Tile Factory

3 ヒロセ工業×民谷螺鈿
Hirose Industry × Tamiya Raden

丹後試作隊
Tango Prototype Team

3 株式会社二条丸八 丹後織物研究所
Nijo Maruhachi Co., Ltd., Tango Textile Institute

谷勝織物工場×TANGO OPEN(丹後織物工業組合)
Tanikatsu Textile Factory × TANGO OPEN (Tango Textile Industry Association)

遊絲舎
Yushisha

株式会社日本玄承社
Nippon Genshosha Inc.

1

『紋響』

日本の伝統的な紋様による布地と音の禅体験

京紋の間

先端技術により、伸縮性のある糸で立体的に編まれた生地形状に合わせて圧電性フィルムを配置。紋様ごとに異なる音の指向性をもったニットファブリックスピーカーによる音の体験。



水紋の間

水の流れを感じさせる透明感を意識したテキスタイルと圧電性フィルムを組み合わせ、質感と音に意識を集中させるための空間。



布から音が湧き上がるような体験

複数の部位を同時に制御・振動させることで、立体的な音場を生成。2つのエリアを通して、禅の感覚を体験できます。



Poiesis Labs合同会社／株式会社ZOZO NEXT
京都市下京区岩滝町174

2

京瓦の進化

現存する唯一の京瓦の工場、浅田製瓦工場

明治から続く浅田製瓦工場では、伝統を途絶えさせないため、新たな経営の元で技術を継承しつつ京瓦の可能性を広げています。

鍾馗(しょうき)さん

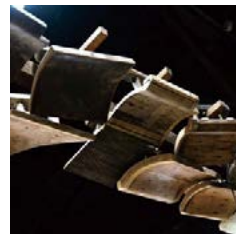
中国の唐の時代より伝わる鍾馗は、かつて京都の三条より厄を追い払う守神として屋根の上から広まりました。

京瓦の可能性

特許を取得したシルクスクリーンを使った新たな技術や、食卓を彩るアイテム、お部屋のインテリアなど、特別な物ではなく生活に寄り添う商品を開発していきます。



株式会社京都商事 浅田製瓦工場
京都市伏見区舞台町5番地



3-1

究極のチェスセット(匠プロジェクト)

機械金属、織物とのコラボレーション

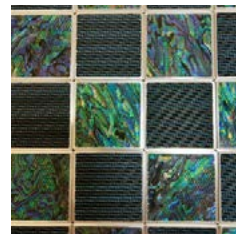
京丹後市を代表する2つのものづくり産業。その最前線で活躍する企業の共創作品です。

高級感のあるデザイン

ステンレス製のチェスピースはミクロン単位で削りだし、漆を塗り、さらに職人が金、銀、プラチナによる蒔絵を施しています。アルミ製チェス盤のチェック柄生地には貝殻を和紙に貼り付けた螺鈿生地と、牛革をそれぞれ細かく裁断したものを織り込んだ生地を使用。ともに高い技術を要する精工な作品です。

「戦いの大海原」を表現

戦国武将が大海原で戦うデザインコンセプト。日本海に面した京丹後市の印象は四季折々に異なります。夏はグラデーション豊かな眩さ、冬は荒波が打ち寄せる猛々しい表情をみせてくれます。



ヒロセ工業×民谷螺鈿

京丹後市大宮町善王寺743／京丹後市丹後町三宅312

3-2

GEO TANGO (丹後ジオラマ)

機械金属の集積地・丹後の技術が結集

丹後は機械金属の集積地として知られています。機械金属の切削技術により、「丹後ジオラマ」を表現しました。設計から部品の加工、組立てまでを行っています。高精度なはめ合わせ加工とメカ設計による上下動をご覧ください。



丹後試作隊

京丹後市大宮町善王寺743

3-3

和装美の最高峰「総絵羽打掛」

柄が一枚の絵のようにつながる美しい模様

絵羽模様とは、打掛の柄が一枚の絵のようにつながっている模様のこと。絵羽模様を作るためには、白生地を染める段階から計算して反物にするため、大変な手間と時間がかかります。

伝統技巧と先端技術の結晶

どの部分をとっても同じ柄がない総絵羽は、伝統技巧と先端技術の結晶です。四季折々の風情、日本人の美意識を表現した総絵羽は、着姿の美しさを考え、格式高い打掛を可能にします。



株式会社二条丸八 丹後織物研究所
京丹後市大宮町善王寺1103

3-4

300年以上の歴史を持つ丹後ちりめん(紋ちりめん)

丹後ちりめんとは

絹織物の産地として約1,300年の歴史を持つ京丹後。京都府北部・丹後地域で織られる伝統の織物「丹後ちりめん」は300年以上の歴史を持つ、絹織物の進化系です。

豊かな表現を可能にする独特のシボ(生地凹凸)

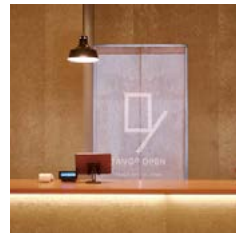
緯糸(よこいと)に強撚糸を使用し、精練加工を経ることで生地表面にシボと呼ばれる凹凸が生まれる後染め織物です。繊細な模様が、その魅力をさらに際立たせます。



谷勝織物工場×TANGO OPEN(丹後織物工業組合)

谷勝織物工場: 京丹後市網野町掛津762

TANGO OPEN: 京丹後市大宮町河辺3188



3-5

藤布(羅織 Ra-ori)

日本最古の織物

縄文時代を起源に日本で最も古い織物の一つと伝えられています。古事記や万葉集にも登場し、その歴史等から京都府の無形民俗文化財、伝統工芸品に指定されています。

先人たちの英知やこころを紡ぐ

山に自生する藤の繊維から糸を作り、これを織るという非常に手間のかかる工程を経て布となります。その過程には先人たちの知恵や藤布に込められた想いが詰まっています。

新たな挑戦

着物帯等の制作だけでなく、ランプシェードやブローチなどの新しい作品も手がけて、藤布の魅力を新たなシーンで発信しています。



遊絲舎

京丹後市網野町下岡610

3-6

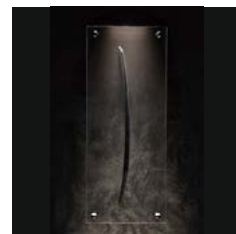
新しーARATASHIー

伝統と近代

伝統技術を用いて作り上げた日本刀を近代技術のレジンと融合させ、唯一無二の存在感を実現しました。

美の瞬間

中空に留まるその姿をあらゆる角度から眺めることで、素材や模様、色彩を立体的に堪能できる最高の瞬間がそこにはあります。



株式会社日本玄承社
京丹後市丹後町三宅314

京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



桑畑

撮影地：京丹後市(京丹後市)
協力者：有限会社三徳



絹ガラス

撮影地：スタジオ
協力者：株式会社 伊と幸



繭玉

撮影地：スタジオ
協力者：丹後織物工業組合



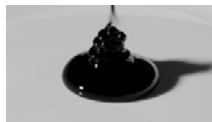
京黒紋付染

撮影地：株式会社京都紋付(京都市中京区)
協力者：株式会社京都紋付



機械織物

撮影地：小嶋織物株式会社(木津川市)
協力者：小嶋織物株式会社



ボタリと落ちる漆

撮影地：スタジオ



藤糸

撮影地：藤織り伝承交流館(宮津市)
協力者：丹後藤織り保存会



漆かき

撮影地：福知山市夜久野町(福知山市)
協力者：NPO法人丹波漆

映像紹介



アフリカンプリント生地

撮影地：スタジオ

協力者：株式会社AFURIKA DOGS



アフリカドッグス

撮影地：AFRIKA DOGS(京都市下京区)

協力者：株式会社AFURIKA DOGS



螺鈿の糸

撮影地：スタジオ

協力者：民谷螺鈿株式会社



貝殻の輝き

撮影地：スタジオ

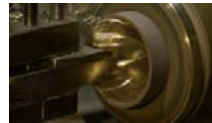
協力者：民谷螺鈿株式会社



京瓦

撮影地：株式会社京瓦 浅田製瓦工場
(京都市伏見区)

協力者：株式会社京瓦 浅田製瓦工場



佐波理おりん

撮影地：有限会社南條工房(宇治市)

協力者：有限会社南條工房



エリカ

撮影地：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所

石黒浩特別研究所(京都府相楽郡精華町)

協力者：株式会社国際電気通信基礎技術研究所

深層インタラクション総合研究所

(JST ERATO 石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト)

(JST ムーンショット型研究開発事業 目標1 アクター共生社会プロジェクト)



人と機械の融合

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
(京都市下京区)

協力者：オムロン株式会社

映像紹介



センシング技術

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



温室効果ガスを資源に変える 微生物培養システム

撮影地：Symbiobe 株式会社
（京都市西京区）
協力者：Symbiobe 株式会社



卓球ロボット

「フォルフェウス (FORPHEUS)」
撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



X線発生装置

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所



X線装置「ダイアナ号」で撮影した 胸部写真

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会